

優れた取組の事例

✓ カリキュラムの工夫

- ◆ 「総合的な学習の時間」をシチズンシップ教育実践の中核とした体系的な取組
- ◆ 「カリキュラム・マネジメント」を働かせた教科横断的な視点での取組
 - ・ 公民科を中心とした「教科中心型」 (5校/12校)
 - ・ 「教科+総合的な学習の時間型」 (4校/12校)
 - ・ 「特別活動+その他型」 (3校/12校)

✓ 政治的中立性を確保する工夫

- ◆ 架空の政党や政策等を作成し、教材として使用
- ◆ 実際の政党や公約等を教材として使用する際には、選挙管理委員会など外部に相談
- ◆ 多様な見解の資料を提示し、生徒自身が主体的に判断する場を設定するとともに、教員が中立かつ公正な立場で生徒を指導する 等

✓ 外部人材、団体の効果的な活用

- ◆ 選挙管理委員会による出前授業や模擬選挙の事例
- ◆ 具体的な社会的課題を取り上げる際に、税務署職員等の専門家を招き、生徒の議論に対してアドバイス等を求めた事例
- ◆ 大学や研究者と連携・協力し、共同でオリジナル授業モデルを作成した事例
- ◆ NGO団体関係者、研究者、大学生を招き主権者教育特別授業を行った事例

✓ 授業内容、活動内容の工夫

- ◆ 選挙制度、公職選挙法、選挙の仕組みに関する学習
 - ・ 公民科(現代社会、政治・経済)の授業を主権者教育の中心に据えた事例
- ◆ 模擬選挙
 - ・ 教科で得た知識等を活用して実施した事例
- ◆ 現実の政治的事象を扱った授業
 - ・ 生徒の社会・政治への関心を高めた事例、課題発見・解決を重視した事例、多面的・多角的に考察し公正に判断する事例、合意形成のために根拠をもって意見を発表する事例
- ◆ 新聞ノートづくり
 - ・ 新聞を切り抜き、感想文を書いて読み合い、政治や社会への関心を高めた事例
- ◆ P T A活動との連携
 - ・ P T Aと行う合同行事のテーマとして主権者教育を取り上げ、選挙に関する親子学習会を実施した事例
- ◆ 自治体が主催する「高校生議会」への参加
 - ・ 各学校から選挙により選出された高校生議員が、本議会会場での意見発表、現職議員による講評・採点を経て、議長や知事に意見発表した事例

✓ 地域や保護者への情報発信の工夫

- ◆ P T A総会やクラス保護者懇談会において、投票参加の呼びかけや選挙運動に関する注意喚起を行った事例
- ◆ 学校ホームページや学級通信で取組内容を発信したり紹介したりした事例
- ◆ 模擬投票を行う学校では、その旨の通知を保護者に出したり、事前学習の際に保護者と相談してワークシートにまとめるよう指示したりした事例
- ◆ 保護者への選挙啓発を目的とした、子供と保護者がともに学ぶ有権者親子学習会の事例

今後の改善点

◆ 計画的な研修の充実

- 外部の講師を招いて職員全体に対し研修を行っている事例がある一方で（2校／12校）、複数回にわたって計画的に校内研修を行う必要があるという指摘が見られる。

◆ 継続できる仕組みの必要性

- 選挙時以外に継続的に外部と協力・連携する方策や、連携を維持・拡大するためのネットワークづくりなどが必要であるという指摘が見られる。

◆ 実際の政治や政治家と接する機会の充実

- 政治家の考え、思いを知る機会を充実する必要があるという指摘が見られる。一方で、政治的中立性を確保する必要があるという指摘も見られる。

◆ 校内組織体制の構築

- 「主権者教育委員会」等の体制を整備している学校がある一方で（6校／12校）、様々な教科の教員による校内の組織体制の構築や、学校全体の職員の取組意識の向上が必要であるという指摘が見られる。

優れた取組の事例

✓ カリキュラムの工夫

- ◆ コース（放送教育、平日教育）に応じた効果的な指導計画における取組
- ◆ 面接指導（スクーリング）の機会を有効活用した取組
 - ・ 「教科＋総合的な学習の時間型」（2校／2校）

✓ 授業内容、活動内容の工夫

- ◆ 選挙制度、公職選挙法、選挙の仕組みに関する学習
 - ・ 公民科（現代社会、政治・経済）の授業における政治制度や公職選挙法、選挙の仕組みに関する学習を主権者教育の中心に据えた事例
- ◆ 模擬選挙
 - ・ 架空の立候補者として教諭が出演した模擬政見放送を視聴させ、模擬選挙を行った事例
 - ・ 選挙管理委員会の協力により、模擬選挙を実施した事例
- ◆ 論点を絞った教材による授業
 - ・ 架空の政党や政策で教材を作成し、論点を絞って生徒に考えさせた事例
- ◆ 繰り返しの実施による学習機会の確保
 - ・ 面接指導（スクーリング）で登校してきた機会を可能な限り活用し、現代社会の授業内容をコンパクトにまとめた講義を丁寧に繰り返し実践した事例

✓ 政治的中立性を確保する工夫

- ◆ 架空の政党や政策等を作成し、教材として使用する 等

✓ 外部人材、団体の効果的な活用

- ◆ 選挙管理委員会による模擬選挙の事例

✓ 地域や保護者への情報発信の工夫

- ◆ 学校通信等で取組の実施を発信したり、生徒作成の生徒会新聞で面接指導（スクーリング）時の主権者教育や選挙に関する講座を紹介したりした事例

今後の改善点

◆ 継続的な学習機会の提供

- ・ 一度の面接指導（スクーリング）だけでは、全ての生徒に学習機会を提供することが不十分であるため、繰り返し実施するなどの工夫が必要であるという指摘が見られる。

◆ 校内組織体制の構築

- ・ 通信制高校ゆえ、登校する全生徒に対して計画的に主権者教育を行っていくには、組織体制や管理職のリーダーシップによるところが大きいという指摘が見られる。

優れた取組の事例

✓ カリキュラムの工夫

◆ 特別活動における生徒会役員選挙との関連を図った取組

◆ 体験的な学習を主権者教育の視点で再整理した取組

- ・ 公民科を中心とした「教科中心型」 (1校/7校)
- ・ 「教科+総合的な学習の時間型」 (3校/7校)
- ・ 「総合的な学習の時間+特別活動型」 (3校/7校)

✓ 授業内容、活動内容の工夫

◆ 実際の選挙に近い環境の整備

- ・ 実際の選挙に近い形で体験的な学習を行うことで、実際の選挙の際に「やったことがある」という自信をもたせ、積極的な投票行動につなげた事例

◆ 代理投票の体験

- ・ 自分で記載できない場合に行う代理投票を生徒自身に体験させ、その取組を保護者にも発信し、啓発を行った事例

◆ 生徒の状況に合わせた教材、教具を活用した指導

- ・ 点字投票用紙の使用や個に応じたオリジナルパワーポイント教材を作成し、授業で活用した事例
- ・ 生徒会選挙の投票用紙に顔写真を入れたり、意思を表示しやすくしたりするなどの配慮をした事例

✓ 政治的中立性を確保する工夫

◆ 中立性に配慮して複数の政党の主張を説明する 等

✓ 外部人材、団体の効果的な活用

◆ 選挙管理委員会による出前授業、模擬選挙の事例

✓ 地域や保護者への情報発信の工夫

◆ 学校通信等で取組の実施を発信したり、保護者会で学校の取組を解説したりする事例

今後の改善点

◆ 教科学習における展開

- ・ 総合的な学習の時間や特別活動における体験的な学習のみならず、関連する教科において主権者教育に関する学習内容が位置付けられているため、個に応じてどのような学習展開が可能か、研究していく必要があるという指摘が見られる。

◆ 保護者への啓発強化

- ・ 保護者は生徒とともに投票したり、家庭で選挙について話したりする機会があることから、今後も代理投票等も含めて保護者の啓発を強化する必要があるという指摘が見られる。